



アミール・ツアルファティ
[2024年9月21日 ニュース速報 2]
<https://youtu.be/4CQzpAOoU-c>

シャローム、皆さん。前回の速報から、さほど時間を開けずにもう一度やるとは思わなかったのですが…アミール・ツアルファティです。ご覧の通り、私は寝ていません。そして速報ニュースです。

ヒズボラは夜通し3回にわたり、私たちのすぐ隣にあるイズレエル渓谷を標的にしました。さらに正確に言うと、彼らは最北端のイスラエル空軍基地、ラマト・ダビドを標的にし、そして、3回にわたって集中砲火でロケット弾が発射されました。1回目は午前1時10分、2回目は午前4時50分、続いて午前5時10分に、3度の集中砲火で、合計、およそ40発の長距離ロケット弾が発射されました。しかし、そのほとんどが迎撃され、いくつかは空き地に落ちました。アイアンドームは、人を危険にさらさないロケットは迎撃しません。したがって、ロケットが空きスペースに落ちると予測した場合は、迎撃しません。システムを圧倒しないためです。残念ながら、私たちのスタジオ CONNECT のすぐ隣にある村の牛舎が攻撃を受け、数頭の牛が殺害されました。Telegram に行けば、そこに写真があります。私たちはまた、3度、防空壕に駆け込みました。しかし、ヒズボラは攻撃したかったというよりも、次のようなメッセージを送りたかったようです。「この時点から、ロケットの射程範囲を、イズレエル渓谷に向かって拡大する。もはや、国の最北端の国境沿いではない。」ということで、私たちは正式に追加されました…繰り返しますが、前回イズレエル渓谷にロケット弾が落ちたのは、2006年の第二次レバノン戦争のときです。面白いのは、最初の集中砲火で実際に被害を受けたのは、ナザレ郊外のアラブ人男性だけで、彼は頭に引っかき傷を負った程度で、非常に軽い傷でした。ただ、私たちが住む、この地域で暮らす30万人のイスラエル人のうち、実はかなり多くがアラブ人です。そして彼らは、ヒズボラの標的となっているのです。シーア派のロケット弾が、ここ下ガリラヤのスニ派イスラム教徒を標的にしている。というわけで、ルールが変わり、もちろん、戦争が差し迫っています。何千人ものイスラエル人が電話とテキストメッセージを受け取り、予備役に再招集されました。イスラエルは、レバノンでの地上機動に先立ち、部隊に兵士を動員しています。

繰り返しますが、私は言葉を慎重に選んでいます。イスラエルの安全保障閣僚会議は、非常に興味深い決定を下しました。近い将来に、それらの実施を目にすることになるでしょう。繰り返しますが、30万人のイスラエル人が、日常的なロケット警報の対象に追加されました。そして、残念なことに、私たちもまたこれに加わっています。下ガリラヤ、イズレエル渓谷は現在、この一連の暴力行為において、正式にヒズボラのロケット弾の射程範囲となっています。

繰り返しますが、ヒズボラはイスラエル全土に到達できるロケットを保有しています。彼らは、できないわけではなく、していなかっただけです。なぜなら、我々は南レバノンを攻撃し、彼らは北イスラエルを攻撃する、そして我々は軍事目標を攻撃し、彼らも軍事目標を攻撃するという暗黙の合意があったからです。もちろん、覚えているでしょうか、彼らのロケットの1発が失敗し、数か月前、ドゥルーズ派の村マジドウル・シャムスで12人の子供たちが殺害されました。それから、ゴラン高原に撃ち込まれたロケット弾によって、他の民間人も何人か殺害されています。しかし、全体的に見れば、特定の範囲内で私たちが彼らを攻撃し、彼らも私たちが攻撃したというのが大局的な見方です。しかし、最高司令官の排除で、彼らの状況が変わり、彼らはそれを宣戦布告とみなしました。そうしてジェズレル渓谷が、ここで日常の攻撃に加わったのです。さて、イスラエルにはそれを許している余裕はないと思います。イスラエルの最北部は廃墟となり、一部が破壊され焼け落ちています。イスラエル国家が、この地域でもそのようなことを許すとは思えません。我々は以前、つまり過去11か月間は、ガザ作戦のために時間を稼ぐ必要がありました。しかし現在、ガザでの活動は、優先順位第二となり、全ての目は北部に向けられています。そして、イスラエルは、いつまでも許すつもりはありません。その間、私たち下ガリラヤとイズレエル渓谷の住民は、代償を払わなければなりません。そして地上作戦がすぐに始まり、少なくとも北部では、できるだけ早くこの戦争が終わることを願っています。

さて、Telegram にいろいろ書きました。動画を沢山載せてます。しかし、私が書いたことの一つは、基本的に、ヒズボラの指導者ナスララには、基本的に3つの選択肢があり、最初の選択肢は、今すぐ降伏して北に移動することです。そして戦争を止め、南レバノンから撤退して、ライタニ川の向こうへ移動する。これは基本的に、2006年の戦争直後に国連で合意された決議1701の実施です。しかし、

ヒズボラが南レバノンに戻ったため、その文書は無意味となりました。そして、これらの統計を聞いてください。「南レバノンの住宅 3 軒のうち 2 軒は、ヒズボラによって使用されている」ガザと同じくらいひどいです。それゆえに...ですから、ヒズボラにとって第一の選択肢は、降伏し、決議 1701 に同意して北に移動すること。第二の選択肢は、ヒズボラが、基本的に、サイクルを拡大することを決定する。そして第三は、ヒズボラが他の条件に同意せず、そのため、イスラエルは地上作戦を行う正当性を得て、そして、ヒズボラをほぼ絶滅させる。ヒズボラは、降伏することも出来ます。ヒズボラは、数日間の戦闘を経て、合意に達することも出来ます。もしくは、ヒズボラは破壊されるでしょう。

イスラエルには 50 年に一度、ヒズボラのような巨大な敵を滅ぼすチャンスが訪れます。そしてその機会が、今まさに訪れているのです。今、私たちの足は、ヒズボラの首を抑えています。今、この瞬間を掴んで、大規模な戦争に突入しないのは、愚かです。代償を払うことにはなりますが、少なくとも今後 20 年、30 年、40 年の間、彼らを滅ぼすのです。

ですから、聖書的に…ご存知のとおり、私はずっと言い続けてきましたが、シリアとレバノン、エゼキエル戦争に登場しないか、言及されていないのには理由があります。その理由は、その前にダマスカスは、破壊されなければならないためです。そしてレバノンは、いかなる脅威も与えなくなります。それが起こるためには、ヒズボラは破壊されなければなりません。イランが、ロシアとトルコに加わる決断を下すのは、イランが代理勢力を失い、彼らに汚れ仕事をさせられなくなるためです。ですから私たちは、イランの資産である代理勢力が破壊される、預言的で聖書的な、驚くべき時代に生きているのです。

ハマスはほぼ完全に叩き潰され、次はヒズボラです。イスラエルは、フーシ派に対処しなければならないと思います。数週間前にイスラエル中部に落ちたロケット、正確には弾道ミサイルに、我々は報復しなければなりません。それに対する報復を、まだしていません。ですから、我々はその対応をしなければならず、イスラエルは、イラクのイラン民兵にも大きな損害を与えることができると私は信じています。

ところで、言いませんでしたが、最近の集中砲火で、イラクからのドローンが、ガリラヤ湖に向かって飛んでくるのが確認されました。そして、我々はそれらを阻止しましたが、イラクは動いており、イエメンのフーシ派も参加を望んでいます。ですから、ここは非常に興味深いのです。

しかし、私は聖書の真理を信じ、状況は気にしません。なぜなら、状況は、最終的に残る真実を反映することは決してありませんから。状況は、その瞬間は真実となりますが、長期的に何が起こるかを理解したいなら、テレビをつけたり、新聞を読んだり、何も知らない愚かで無知なアナリストの言うことを聞く必要はありません。聖書を開くだけでいいのです。それだけです。もし聖書が偽りであれば、我々は滅ぼされるでしょう。しかし、聖書が真実なら、私たちは勝利します。そして、どの選択肢が唯一最善であるか、疑問に思うなら、古代エジプト人やペリシテ人に聞いてみてください。アッシリア人やバビロニア人、ペルシャ人に尋ねてください。ギリシャ人やローマ人、ビザンチン人、初期のイスラム教徒に尋ねることもできます。オスマン帝国にも尋ねてください。ナチスに聞いてください。我々が、そのすべてを乗り越えてきたのは、我々が強いからでも、偉大だからでもなく、ただ、神が、私たちのために計画を持っておられるからです。そして、神が預言者を通して予告された計画だけが実現するのです。1944年に、ユダヤ人国家について報道する人を連れてきたら、彼らは決して生き残れない、と言ったでしょう。しかし、3、4年後に、イスラエルが建国されました。だから、アナリストが何を言おうと、私は気にしません。

皆さん、言っておきます。聖書に固執してください。我々はこの戦争に勝利します。ヒズボラは現在、設立以来最悪の状態にあり、そして私は、ヒズボラの壊滅が早急に起こることを願っています。それまでの間、私たちは、ここ下ガリラヤで代償を払い、おそらく、一日に数回、防空壕に駆け込むのが日課となるでしょう。CONNECTからの配信をどうするか考えなければなりません。制限される可能性がありますから。今から数時間後に集まって、どうするかを話し合う予定です。スタジオ内に何らかの防空壕を建設できるかどうか、検討する必要があるかもしれません。それをするには、承認を求めなければなりません。でも、もしそれが選択肢であれば、皆さんにお知らせします。それまで、皆さん、お見逃しなく。

神は良いお方です。私たちは強いです。敵は勝てません。聖書は真実です。神がすべてをコントロールしておられます。神は玉座に就いておられ、そしてイスラエル国家には、希望と安らぎの未来があります。前にも言いましたが、エレミヤ書 29 章はイスラエルのために書かれました。**“わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。——主の御告げ——それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。”** 覚えていますか？キリスト教徒やユダヤ教徒が、イスラエルの民に対する神のこの素晴らしい約束を信じないなんて、想像できません。

ということで、引き続きお知らせします。レバノンのヒズボラからの、3 回にわたるロケット弾集中砲火が、私たちにとって、非常に短いこの夜の中に…というより、実際、長い夜でした。みんな寝たのは、たぶん合計 40 分くらいです。午前 1 時 10 分に最初の集中砲火があり、ロケット弾約 15 発が発射されましたが、そのほとんどが迎撃されました。2 度目の集中砲火は午前 4 時 50 分、3 度目は午前 5 時 10 分で、その間に、イラクからのドローンがガリラヤ湖の南で迎撃されました。そしてまた、CONNECT スタジオのすぐ隣にある牛舎が攻撃を受け、残念ながら、牛が殺害されました。映像は Telegram に掲載されています。それから、以前のアップデートでも言いましたが、ソーシャルメディアでは、特定のものがお見せできません。これを見ている反イスラエル派と親パレスチナ派が結構いて、彼らはすぐに通報するので、私はフラグが立てられ、抑圧され、禁止されるのです。だから、実際の映像については、私の Telegram チャンネルを使うのが一番いいと思います。あそこでは、誰も私をシャドウバンできませんから。ですので、私は YouTube、Facebook、X などのソーシャルメディアで引き続き報告していきますが、映像やビデオ、その他多くのものは、私の Telegram チャンネルにあります。良いですね？イスラエルのために祈り続けてください。今は容易な時期ではありません。繰り返しますが、レバノンからのロケット弾攻撃が、日常的に行われるようになります。それは私たちにとって良いニュースではありません。しかし、イスラエルが、今まさにヒズボラの首に足をかけているこの機会を捉えるなら、我々は喜んでその代償を払います。そして私たちは、できるだけ早く仕事を終わられるよう祈り、願っています。良いですね？今後も Telegram で最新情報をお伝えして、必要があれば、ここでもビデオで速報をお伝えします。私たちのためにお祈りください。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

